

令和3年度ピアサポーター養成講座実施状況

1 実施プログラム

	日時	内容	講師
1	10月22日(金) 午後2時～4時	ピアサポートの理解 ～ピアサポートの意義と基本理念～	大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類 准教授 松田 博幸 氏
2	10月28日(木) 午後2時～4時	所属機関におけるピアサポーターの役割 と活動の実際	ピアサポーターと所属先の職員
3	11月4日(木) 午後2時～4時	退院促進の意義と大阪の精神科病院事情	大阪精神医療人権センター 山本 深雪 氏
4	11月10日(水) 午後2時～4時	コミュニケーションの手法と実践	ジャパン EAP システムズ 臨床心理士 川端 洋子 氏
5	11月18日(木) 午後2時～4時	ピアサポーターの基盤と専門性	桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授 栄 セツコ 氏
6	12月1日(水) 午後2時～4時	ピアサポートの専門性の活用 ～語りの実践～	ピアサポーター
7	12月7日(火) 午後2時～4時	ピアサポーターとして働く上でのセルフ マネジメントとバウンダリー	カウンセリング&コンサルティング グオフィス フロンティア 公認心理師 小島 俊久 氏
8	12月15日(水) 午後2時～4時	ピアサポーターの専門性の活用と気づき の共有	桃山学院大学 社会学部社会福祉学科 教授 栄 セツコ 氏

2 参加者状況

参加者数(実) 17人 内 修了者 15人

年齢別参加及び修了人数		
	参加者	修了者
20歳代	1人	0人
30歳代	6人	6人
40歳代	7人	6人
50歳代	2人	2人
60歳代	1人	1人

所属事業所	
地域活動支援センター(生活支援型)	1人
就労支援移行支援B型	11人
地域活動支援センター(A型)	2人
障がい者基幹相談支援センター	1人
障がい者就業・生活支援センター	1人
介護支援事業所	1人
再)現在就労中の者	8人

3 アンケート結果

① 受講理由（複数回答）

自分の生き方を考えるきっかけにしたい	5人
人の役に立ちたい	11人
入院体験を語り、少しでも地域生活できる人を増やしたい	2人
多くの人に精神の病気を持つ人のことを理解してもらいたい	8人
声をかけられたからやってみようと思う	5人

② 講座の理解度及び今後の活動に役立てられると思う割合

	理解度 (%)	役立てられると思う割合 (%)
1回目	88.9	83.3
2回目	100.0	100.0
3回目	77.0	84.6
4回目	93.3	100.0
5回目	86.6	100.0
6回目	86.6	100.0
7回目	93.3	100.0
8回目	93.3	100.0
平均	89.9	96.0

③ 参加者の声（抜粋）

- ・貴重な話が聴けて幅が（考え方）広がった。講座全体を通しては全てが人生で、掛け替えのない体験ができてありがたく思った。
- ・1回1講義でゆっくりしたペースで学べたのでとても理解しやすかった。
- ・職場で病名を知られると差別されたことがあったが、この講座で学んでいくうちに、自分は不必要なだけの人間ではなく、役に立てるのだという思いがでてきた。
- ・皆さんの“語り”を聞き、フラッシュバックして辛い事もあったが、講義で自身の追体験になるとの話聞き、腑に落ちて昇華された。
- ・実践ができてとても勉強になり、自身の役に立った。
- ・障がいや病気を抱えながらがんばっている方の語りを聞くことができたことが何よりも大切な学びとなりました。
- ・8回全部勉強になった。講座を終了し、ピアサポーターとして出来ることは何か考えさせられた。